

北九州 市議会 だより

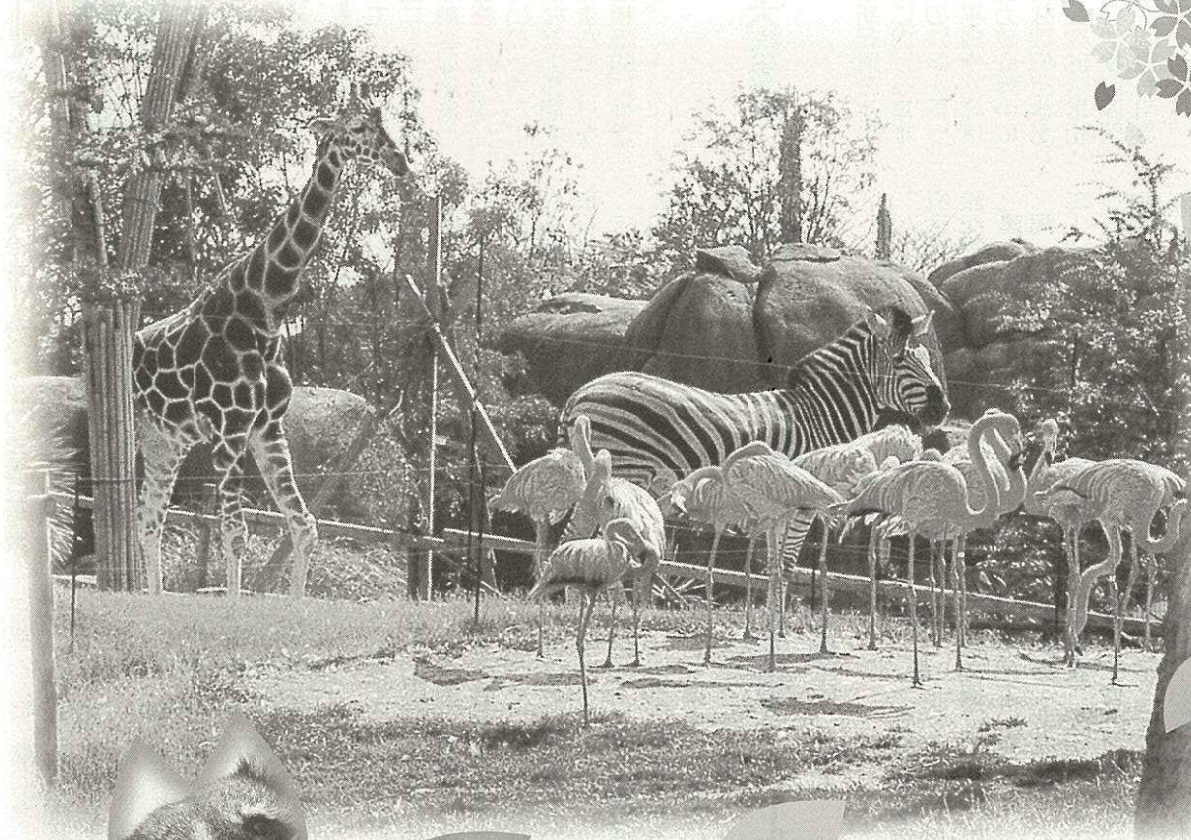
PRESS

No. 165

平成16年4月15日号
(年4回発行)

2月定例会で 16年度当初予算などを可決

おもな内容	ページ
本会議での質疑	2～5
予算特別委員会での質疑	6～7
市議会中継	6～7
請願・陳情と意見書など	8



到津の森公園

市議会の虚礼廃止にご理解を！

— 公職選挙法では、次のようなことが禁止されています。 —

- 議員や後援会が寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと
- 議員や後援会がお中元やお歳暮をすること
- 議員が暑中見舞いや年賀状などのあいさつ状を出すこと
(自筆の答礼は除く)
- 市民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか市議会では、祝電、弔電の自粛を申し合わせています。
市民の皆様のご協力をお願いします。



2月定例会

本会議の質問と答弁

本会議での質問と答弁は、紙面の都合により要約したものを掲載しています。詳細は、6月頃できる会議録を各市立図書館などでご覧いただけます。また、市議会のホームページの会議録検索システムでも7月頃から閲覧できます。

2月定例会は、2月26日から3月26日まで開かれました。市長から80件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案を可決、同意しました。また、議員から提出された議案は16件で、うち11件を可決しました。

平成十六年度予算

議員 平成十六年度予算編成の基本的な考え方と特色について伺う。

市長 平成十六年度予算は、景気の低迷による税収の落ち込みや地方交付税の削減などにより、前年度より約百十五億円の減収となる中での編成となった。

その減収分をカバーするため、人員削減などの行財政改革や、予算編成改革などに取り組み、約百二十億円を捻出した。その結果、起債制限比率も政令市でトップクラスの九パーセント台を維持し、義務的経費比率も、前年度に比べ〇・一ポイント減少するなど、財政の健全性は維持できたと考えている。

議員 北九州市新行財政改革大綱素案における基本的な考え方と取組への決意を伺う。

市長 素案は、平成十六年度からの三カ年を集中取組期間とし、具体的な数値目標を明示した。また、中長期的な取組については、その内容や検討課題を明示し、集中取組期間後も引き続き改革を推進することとした。

議員 市民のスポーツ振興や健康増進を図るため、既存の大型公園に野外スポーツ施設を設置してはどうか。

建設局長 公園は子ども遊び場、エーションやスポーツ活動の場として重要な役割を持っている。このため、様々な目的の公園を積極的に整備してきた。しかし、少子高齢化の進展により利用形態が変化したため、三萩野公園やグリーンパーク等に子どもから高齢者まで、スポーツなど多目的に利用

新行財政改革大綱素案

革実行予算一となつている。重点施策としては、市民ニーズに的確に対応するためのきめ細かな施策として、世界の環首都を目指すなど七つの柱を据えている。さらに、新北九州空港の整備など中長期を見据えた、活力あるまちづくりを進めるための事業を積極的に推進することとしている。

づくり、④行政サービス向上の徹底、⑤持続的な都市経営を支える財政基盤づくり、の五つの大きな柱に整理した。

この素案は、今後、議会や市民から意見をいただき、大綱として取りまとめたい。また、市民に対しては、出前講演などにより理解と協力を得ていきたい。

大型公園に 野外スポーツ施設の設置を！

議員 多額の累積赤字を抱えるモノレールへの税金による支援について、市はどのように考えているのか。

建設局長 北九州モノレールは、昭和六十年の開業以来、乗客が二億人を超えるなど市民の重要な足となっている。

また、沿線における人口や従業者数の増加、建設に伴う経済波及効果に加えて、自動車の減少による環境改善や交通事故の減少など、地域に果たした役割は多大なもの



- 本会議では、各会派から次の20人の議員が質疑を行いました。(発言順。掲載記事の順番とは関係ありません。)
- | | |
|-----------------|-----------------|
| 佐々木健五 (自民市民クラブ) | 堀口勝孝 (北九州市民クラブ) |
| 西豊磨 (公明党) | 戸町武弘 (自民市民クラブ) |
| 安藤正道 (北九州市民クラブ) | 井上秀作 (自由民主党) |
| 石田康高 (日本共産党) | 森浩明 (新しい風) |
| 河崎誠 (自由民主党) | 藤沢加代 (日本共産党) |
| 重野幸宏 (社市民民連合) | 世良俊明 (北九州市民クラブ) |
| 田仲一雅 (緑の会) | 岡本義之 (公明党) |
| 森本由美 (社市民民連合) | 福島司 (社市民民連合) |
| 原田里美 (日本共産党) | 敷田信代 (おがちっ子) |
| 木村優一 (公明党) | 原博道 (日本共産党) |

があつたと考えている。

今後の具体的な支援については、車両等の更新による負担も含め、北九州高速鉄道(株)経営検討委員会で検討することとしている。

大都市の地下鉄などの多くが、多額の単年度赤字を計上する中で、モノレールは経費削減などの自助努力を重ね単年度赤字に転換しており、一定の評価はできるものと考えている。

児童虐待再発防止の取組は？

議員 虐待を受けて施設等へ入所している児童の家庭復帰や保護者を対象とした再発防止対策について伺う。

保健福祉局長 児童の家庭復帰促進を目的として、平成十五年度から「退所促進事業」として、家庭環境の調整や親子関係の修復等を行っている。しかし、保護者の養育能力の不足により、虐待の再発が懸念されたため、家庭復帰できた児童は一人であった。このため、再発防止には、保護者へのケアとともに養育能力の向上が必要であると考えている。

虐待をする親や養育不安のある保護者を対象に、子どもとの遊び方・子どもの叱り方等、養育方法の指導やグループワークを行う「ペアレントトレーニング事業」に取り組むこととしている。

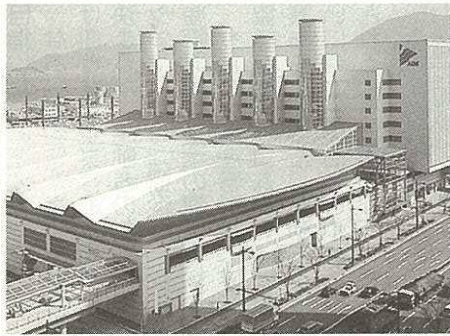
今後は、この事業を通して、保護者の養育不安の解消を図り、児童の家庭復帰促進や虐待の再発防止につなげていきたい。

国庫補助金の返還は？

議員 子育て総合支援施設を輸入促進の目的で建設されたA-Mビルに設置することは、当初の目的に反するため、補助金を国に返還することになるのではないかと懸念している。

産業技術 A-Mビルの三階は、振興局長 輸入品の展示・販売活動を行うスペースとして、国の認定を受けていることから、輸入促進以外の用途に転用した場合、補助金の一部返還が生じる可能性がある。

しかしながら、①A-Mが当初計画どおり輸入促進基盤施設として建設されていること、②ビル全体の基本的機能の変更ではないこと、③三階の用途転用により、A-Mの活性化が図られること、④床の借上方式であること、などから補助金を返還しないで済むように国との協議に臨みたい。



AIM (アジア太平洋インポートマート)

救急出動の増加対策

議員 救急件数が毎年増加の一途をたどっているが、本市ではどのような対策をとっているのか。

消防 増加する救急件数に対し、局長 応ずるため、これまで救急車を利用していただ病院間の患者搬送のうち、緊急性の低いものについては民間の搬送車を利用してもらおうとした。また、小倉北区の救急出動件数は、市内平均の二倍以上もあることから、本年四月、富野出張所に救急隊を新たに設置する。

一方、救急車の到着に時間がかかる場合は、救急の資格を持った消防士が消防車で現場に駆けつけて、人工呼吸等の救命処置を行う「あかきゅう」を全国に先駆けて実施している。

救急車の適正利用については、市民の理解と協力が重要なことから、今後も、医師会等の協力を得ながら、さらに積極的なPR活動に取り組んでいきたい。



小中学校の英語教育の充実を！

議員 小中学生に実践的な日常英会話能力を習得させるため、小中学校の連携や質の高いカリキュラムの作成、授業への拡大を図るべきではないかと懸念している。

教育長

小中学校で行われている英語教育を効果的に連携させるため、昨年五月、大学研究者、教員、民間教育事業者など四十名で構成される英語教育推進協議会を設置した。平成十六年度中の報告を目的に、小学校英会話体験学習や中学校英語教育に関する基本方針、カリキュラム等について協議を進めている。

また、英語が話せる中学生育成のため、従来は月一回程度であった外国人指導者との協同授業を平成十六年度からは、一年生に加え二年生も月二回に増やすこととしている。小中学校の英会話体験学習についても、コミュニケーション能力の一層の向上に向け検討したいと考えている。

まちづくり協議会のあり方は？

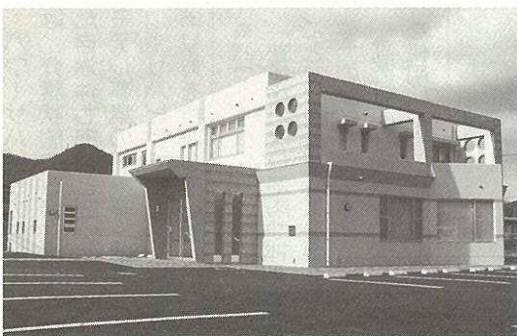
議員 市民福祉センターの公設民営化とまちづくり協議会のあり方について尋ねる。

保健福祉局長 今回、市民福祉センターを地域が自主的に

運営するコミュニティ施設と明確に位置付けた。さらに、将来は館長等を主体的に選任し、自主的、民主的に運営する公設民営化を目指すこととした。

一方、地域住民の活動を推進するまちづくり協議会についても、機能充実を図ることとした。具体的には、既存の団体を新たな構成団体として協議会を再編し、その下に機能的な専門部会を設ける。また、市が地域団体に目的別に交付してきた補助金を地域が一定の裁量を持って使えるよう、まとめて交付することとした。

これらの取組で、まちづくり協議会が地域活動の中心として機能し、公設民営への動きを促進すると考えている。しかし、地域ごとにそれぞれの歴史や特性があることから、まずは市内十程度のモデル校区で問題点を検証するとともに、出前講演などを通じて地域の理解を得ていきたい。



高蔵市民福祉センター

健康づくりへの支援は？

議員 健康づくりは、行政と住民とが一体となった取組が必要である。本市では、どういった支援を行っているのか。

保健福祉局長 本市は、「北九州市健康プラン」を作成し、

①自分の健康は自分で守り、つくるという意識の高揚、②地域を中心とした健康づくりの推進、③市民の健康を支える環境整備などに取り組んできた。

健康づくりへの支援が、中長期的には、医療費や介護費の伸びの抑制につながるものと考えており、市民福祉センターを中心とした事業を強力に支援していきたい。

具体的には、組織づくりの手伝いや保健師等の派遣、必要なデータの提供などを行う。なお、提供するデータの精度を高めるために各種データを一元化し、地域の特長に応じたシステムを開発することとしている。

コムシティを高齢者向けの施設として活用は？

議員 コムシティの再建築として、年長者研修大学の設置や高齢者向けファッション・シティを誘致してはどうか。

建築都市局長 コムシティは、にぎわいのある交通・交流拠

点となるよう、商業施設やホテル等を整備した。そのため、破産管財人に対しては、この目的に沿った再生をお願いしている。市としては、商業施設としての受け皿が見つかることが、ビル再生に向けての第一歩となると考えており、まずは、商業施設としての再生を目指したいと考えている。

なお、商業施設の再生内容は、受け皿となる企業等の考え方により決まるが、高齢者のためのファッション・シティ誘致については、破産管財人に提案の趣旨を伝えたい。今後も、破産管財人とは適切な協議を行い、コムシティビルが商業を中心とした、駅前になぎわいにぎわいのあるビルとして再生されるよう、努力していきたい。

特別養護老人ホームの増設を！

議員 特別養護老人ホームは一月末で待機者が約三千人に達していることから、早急に増設すべきではないか。

市長 特別養護老人ホームの整備については、高齢化社会対策総合計画により計画的・積極的に取り組んできた。

その結果、特別養護老人ホームなど介護保険三施設の整備水準は、政令市の中でも上から三番目となっている。さらに、平成十五年からの五年間で五百六十四床増やすという整備目標を設定しており、今後も早期達成を目指して確実に

整備していきたい。

一方、実態調査によると、介護を必要とする高齢者や家族の約七割が在宅介護を望んでいる。このため、施設整備を進めるとともにできるだけ在宅で介護が続けられるような施策の充実も図るなど、双方のバランスが取れたサービス提供を目指していきたい。



特別養護老人ホーム

地域交番の統廃合について

議員 非行防止等の地域活動は、交番との連携に支えられている。福岡県警の組織見直しによる、交番の統廃合の状況及び市内警察官の配置について尋ねる。

総務市民局長 昨年八月、福岡県警は、都市型深夜犯罪の増加や検挙率の低下に伴う治安悪化に対応するため、夜間・休日対応が

手薄な駐在所等を減らし、六人以上が交代で常駐する拠点交番を増やした。これに伴い、市内の交番・駐在所は九十六カ所から五十六カ所に統廃合されたが、警察官は約二十名増員されている。

また、市警察部機動警察隊でもパトカーを二十四時間運行することとし、約二十名の警察官が増員された。

新たな取組以降本年一月までの半年間、本市の犯罪認知件数は、一万六千四百三十二件で前年同期に比べ二千八百五十六件減少した。また、検挙件数は、四千八百三十一件と千四百四十六件増加しており、福岡県警では、取組の効果が出たものと分析している。

効果的な介護予防対策の確立を！

▼パワリリハビリの導入▲

議員 他の自治体において介護予防に効果を上げているパワリリハビリを、本市でも導入すべきではないか。

保健福祉局長 本市では、比較的軽度の要介護認定者が著しく増加し、要介護度も悪化傾向にあるため、介護予防を推進し、高齢者の自立を支援することが重要な課題である。

そのため、平成十六年度にモデル事業として、身体機能を維持向上させる運動や介護予防教育などを一定期間、体系的に実施し、効果的な介護予防策を検証することとしている。

パワリリハビリの導入については、介護状態の改善に効果を上げた自治体もあると聞いているため、モデル事業の結果等を踏まえ、パワリリハビリを含めた介護予防のあり方を検討していきたい。

※パワリリハビリ

普段使わない筋肉や神経を使うことで、日常生活に必要な動作と体力の改善を目指すリハビリ。高齢者向けのトレーニング機器を使用している。

小学校の副教材選定について

議員 小学校新一年生の副教材については、学校によって種類や購入金額に差があることから、統一基準を設けてはどうか。

教育長 副教材は、各学校が校長や教頭、教務主任等で構成する選定委員会を設置し、校長の責任で決定している。選定にあたっては、学習指導要領等に照らし適当か、保護者の負担軽減に配慮があるか等を基準にしている。

副教材選定は、教育活動に責任を持つ校長の権限でもあり、特色を生かした学校運営を推進するうえで、教育委員会が統一基準を設けることは適当でないと考える。今後も保護者負担の観点から、他校との格差が大きくなるよう指導していきたい。

学校給食の民間委託について

議員

学校給食調理業務の民間委託が四月から実施されようとしている。民間委託に伴う様々な問題や学校給食の持つ教育機能などについて、第三者委員会を設置し、改めて検討すべきではないか。

教育長

学校給食調理業務の民間委託については、広く市民や有識者の意見を聞き、平成九年策定の行財政改革大綱に基づき検討を進めてきた。平成十四年から市内二校で実施したモデル事業については、昨年八月、有識者による評価委員会より、「モデル事業を安定的に運用できれば、現行の直営方式と同等の質を確保できる」との報告を受けている。

また、市議会においては、本会議での多くの議論とともに、市民からの請願・陳情の審議も行われ結論が出されるなど、民間委託については十分な議論を重ねており、新たな検討委員会を設置する必要はないと考えている。

鳥インフルエンザへの対応は？

議員

市内で鳥インフルエンザが発生した場合、通報や指導の体制は万全なのか尋ねる。

経済文 鳥インフルエンザの発生が疑われた場合には、早期に適切な対応を行い、感染の拡大を防ぐことが重要である。そのため、県の家畜保健衛生所が中心となり、ウイルス検査の実施、発生場所の消毒や立入規制等の措置を行うこととしている。

また、本市では、「鳥インフルエンザ対策連絡会議」を設置し、危機管理体制づくりに取り組んでいる。まず、養鶏場で発生した場合、業者が直ちに家畜保健衛生所や市の総合農事センターに通報することになっている。さらに、センターでは、日頃より養鶏業者との連絡を十分に行い、情報収集に努めている。また、市民が愛がんに鳥を飼っている状況を把握するとともに、鳥の飼育に関する助言等を行っている。

小学校校庭の芝生化について

議員

小学校校庭の芝生化について、これまでの検討状況と今後の進め方を尋ねる。

教育長

校庭の芝生化については、平成十五年度に特色ある、よりよい学校環境を実現するためのメニューづくりの中で検討を行った。その結果、平成十六年度から校庭の芝生化をメニューの一つとした学校施設グレードアップ事業を実施することとした。

この事業は、校庭芝生化等の施設整備のメニューを提示された学校が、PTAや地域と協議会を設置し、独自の施設整備案を作成する。その中から、特に優れている五校程度について、一校当たり約二千万円で施設整備を実施するものである。

校庭の芝生化については、この事業の中で平成十六年度に一校は実施したいと考えている。



法科大学院ロースクールの開設について

議員

本年四月、全国で法科大学院が開設されるが、本市での設置が遅れると優秀な学生や教員の確保が困難になるのではないかと懸念している。

市長

北九州地域では、事件の取扱件数等に対し弁護士の数十分とは言えず、人材育成への期待は強い。また、昨年

の適正試験には、本市会場に約二百人が志願するなど、法科大学院に対するニーズも強いものがある。しかし、弁護士会や大学等関係者による法科大学院推進協議会では、設置形態等で合意ができず、平成十六年度の開設を見送った。一方、本年開校の法科大学院六十八校の合計定員約六千人に対し、新司法試験の合格者は三千人と言われている。実績を出さなければ淘汰されるため、設置後が正念場とも言われている。開設にあたっては、優秀な教員の確保や学生募集の方法等に留意して、他の法科大学院に優る質の高いものになければならない。四月開校の法科大学院等の状況を注意深く見守り、推進協議会で検討を進めていきたい。

市営駐車場利用料金の見直しを！

議員

民間と比べて利用料金が高い市営駐車場があるが、料金見直しの検討状況について尋ねる。

建築都市局長

市内七カ所に設置されている市営駐車場の利用料金は、受益者負担の原則等に基づき定められているが、利用しやすい料金への見直しは常に行われている。

そこで、周辺の民間駐車場利用料金の実態把握のために事前調査を行った結果、低価格なコインパーキングの設置などにより、市

営駐車場より安いところも多かった。

そのため、利用料金の本格的調査を行うこととし、平成十六年度予算に周辺駐車場の調査費を計上した。この結果を元に、民間の多様な料金体系を参考に、平成十六年度中に見直し案を作成したい。なお、この見直しに当たっては、指定管理者制度の導入による経費削減なども検討したい。



他に、次の項目にわたっても議論がありました

- 安全安心なまち北九州の実現について
- 折尾地区総合整備事業について
- 中間市との合併について
- 黒崎副都心のまちづくりについて

など

門司港レトロ室の設置

Q 関門海峡エリアを全国レベルの観光地へと発展させるため門司港レトロ室が設置されるが、具体的な目標と効果について伺う。また、民間からの登用を予定している室長については、どのような役割を期待しているのか。

A 門司港レトロ室の設置により、5年後の平成20年には、観光客を現在の2倍に当たる400万人台に乗せ、関門海峡エリアを全国に通用する観光地に成長させたいと考えている。

新しい室長には、集客対策としての大型キャンペーンの実施や新たな広域観光ルートの開発などの役割を期待している。また、関門連携を強化すること、当面の集客ターゲットを中国地方や関西圏に置いていることなどから、JR西日本の営業分野で実績のある人材を登用することとしている。



既存コンテナターミナルの利用促進を!

Q 響灘大水深港湾施設の始動により、太刀浦コンテナターミナル等の取扱貨物が減少するのではないかと危惧している。既存コンテナターミナルの利用促進を図るべきではないか。

A 既存コンテナターミナルの利用促進については、平成13年12月に「利用しやすい港づくり懇話会」を設置し、28項目の具体的な振興策をまとめた。主な取組として、港湾施設使用料の大幅な減免、開庁時間の延長や大型X線検査施設の設置、船内荷役作業の共同化などを実施している。

今後も、シー&レール(海上貨物輸送と鉄道貨物輸送の連携)など立地の優位性を生かしたサービスのPRや、国内・海外の船社訪問などによるポートセールスを強化していきたい。また、コンテナターミナルの効率化を図るため、平成16年度は、検査上屋の整備や陸上港湾施設使用申請の電子化推進などに取り組みたい。

予算特別委員会

—市長質疑から—

3月10日に設置された予算特別委員会は、3つの分科会に分かれて審査を行いました。3月22日に行われた市長との質疑の中から、いくつかを紹介いたします。



第2分科会

少人数学級の実施について

Q 他都市では県教育委員会の指定を受けて、少人数学級を実施すると聞いているが、本市でも実施できないのか尋ねる。

A 県の計画は、教員の増員ではなく現在配置されている加配教員が学級担任となるものである。このため、少人数指導を行ってきた加配教員の活用が限定されることとなり、学校運営上好ましい状況とは言いえない。

本市ではこれまでも、加配教員を中心に少人数指導の工夫・充実を図ってきた。また、平成15年度からは、非常勤講師を雇用し、小学校1、2年の国語と算数について少人数・習熟度別指導を行っている。この取組には、一人の子どもに複数の教員がかわり、多面的評価ができるなど、固定化された学級にはないメリットがある。これを生かして、子どもたちの基礎学力の向上と適性等にに応じた、きめ細かな指導を進めていきたい。

環境首都を目指すための取組

Q 京都議定書にCO₂(二酸化炭素)削減の各国目標が定められている。環境首都を目指す本市として、先駆的な取組が必要と考えるが、本市の基本的な考え方を尋ねる。

A 本市はこれまで、①エコタウン事業など環境に配慮した事業、②ごみ発電、風力発電など資源やエネルギーの効率的利用、③環境家計簿の普及など環境に配慮したライフスタイルの推進などに取り組んできた。

その結果、平成12年度のCO₂排出量は平成7年度に比べ0.4%減少した。しかし、産業部門では減少しているにもかかわらず、家庭や事務所、運輸部門からの排出量が大幅に増加しており、今後はこれらの削減対策が重要である。

そこで、現在策定中の北九州市地域省エネルギービジョンにおいて、具体的な取組項目や削減見込量を明示することとしている。市民・企業・行政が一体となった体制づくりにより、CO₂の削減など環境に配慮した都市づくりを目指していきたい。



道路(枝光~戸畑線)の整備について

Q 都市高速道路5号線は、高速道路公社の有料道路事業から市の一般道路事業による整備に変更されたが、早期整備に向けて事業費はどのようにして確保するのか。

A 枝光~戸畑間の路線は、本市の環状放射型自動車専用道路網の形成に必要なものである。さらに、整備中の新若戸道路とも接続し、響灘ハブポート等の地区開発を支援することが期待されている。今回の変更は、老朽化した4号線(春日~馬場山間)の補修を優先したことや、現在の社会情勢から料金を値上げできないことなどを総合的に判断し、一般道路事業として整備することとしたものである。

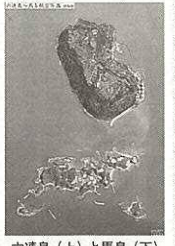
事業費については、道路構造や工法の見直しによるコストの縮減を図るとともに、国庫補助金等の財源確保などについても検討することとしている。具体的な整備にあたっては、一般道路の中でも優先順位が高いことから、他の道路事業との調整や関連プロジェクトの進捗等を見ながら検討していきたい。

離島対策について

Q 馬島の上水道が3月末に完成する。給水開始後の安定給水の確保及び水道施設の維持管理はどのようにするのが尋ねる。

A 馬島の水道整備は、平成14年度に着手し、総事業費約2億円で4月1日からの給水開始を予定している。安定給水の確保については、下関市の六連島から補強した送水管を海底埋設するとともに、島内に一日最大給水量の12時間分の容量を持った配水池を設置している。

水道施設の維持管理については、下関市と連携して配水池の水位や配水量を配水管理システムにより24時間監視する。また、水道管の漏水・破損事故の場合は、水道工事センターから職員を派遣するなど迅速に対応することとしている。



六連島(上)と馬島(下)

市議会中継の放映日程(例)

※平成15年の会議日程による。

【2月定例会(予算議会)】	
・市長提案理由説明	1日
・代表質疑	2日
・一般質疑	3日
	計6日
【6月定例会】	
・市長提案理由説明・質疑・一般質問	計3日
【9月定例会(決算議会)】	
・市長提案理由説明	1日
・質疑・一般質問	4日
	計5日
【12月定例会】	
・市長提案理由説明・質疑・一般質問	計2日
	合計16日間



撮影風景(平成16年2月定例会にて)



画面の切り替えや、テロップの挿入作業風景(平成16年2月定例会にて)



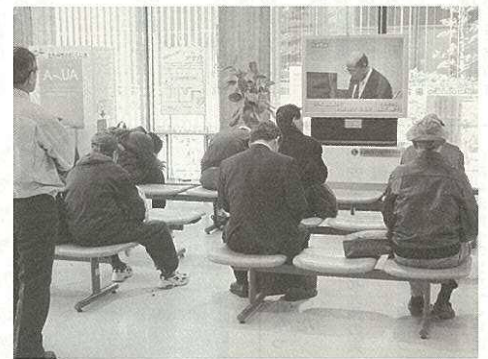
今後はすべての定例会で放映

※ 放映日程は、市議会のホームページ等でお知らせします。お問い合わせは、市議会事務局調査課(☎58222632)まで。

市議会(定例会)をテレビで見よう!



に開催される予算議会のうち3日間(市長提案理由説明及び代表質疑)の本会議の様相をケーブルテレビで放映してきました。



市議会中継の放映の様子

北九州市議会では、開かれた議会を目指し、多くの市民の皆さんに市政の動向や議会活動を理解していただくよう取り組んでいます。市議会への関心を深めていただくため、これまで毎年2月に開催される予算議会のうち3日間(市長提案理由説明及び代表質疑)の本会議の様相をケーブルテレビで放映してきました。

可決した意見書・決議

市議会では、市政や市民の生活にかかわりの深い事柄について改善等を求めるため、意見書や決議を国等へ提出することができます。

今定例会では、16件の意見書・決議が提出され、うち11件を可決しました。その件名を紹介します。

- 警察の裏金問題の徹底解明を求める意見書
- 税源移譲を基本とする三位一体改革の実現を求める意見書
- 65歳まで働ける雇用環境の整備を求める意見書
- パートタイム労働者等の労働条件の整備を求める意見書
- 食料自給率を高めるための実効ある施策を求める意見書
- 高病原性鳥インフルエンザ対策の強化を求める意見書
- 実効ある児童虐待防止への法整備を求める意見書
- 児童福祉司の増員を求める意見書
- インフルエンザワクチンの適正供給を求める意見書
- 郵政民営化に関する意見書
- 新北九州空港に就航する航空会社を支援する決議

ウェブまんが 「市議会ってなあに？」

市議会ってどんなことをしているんだろう？と疑問を持っている子どもたちのために、市議会のことをわかりやすく説明したウェブまんが「市議会ってなあに？」が登場しました。

市議会について知りたい子どもたちがテレビから飛び出した博士と一緒に、実際に市議会の中を探検しながら一つひとつ勉強していく、バーチャル・ガイドになっています。となたでもすぐに議会通になれること請け合いです。

お子さんと一緒に、ご家族の方もぜひ一度アクセスしてみてください。

(アドレス)

<http://www.city.kitakyushu.jp/kids/>

※北九州市のホームページからもアクセスできます。

あなたも市議会を通して 市政に参加しませんか。

～請願・陳情～

市政についての要望や意見を請願や陳情として、市議会に提出できます。

市議会では、提出された請願や陳情を所管の委員会で話し合い、審査をしたのち、本会議で最終的に採択か不採択かを決めます。

なお、議会での審議結果は、提出された方にお知らせしています。

採択された請願や陳情は、それぞれ関係の執行機関に送付されます。

◆請願には、議員の紹介が必要です。

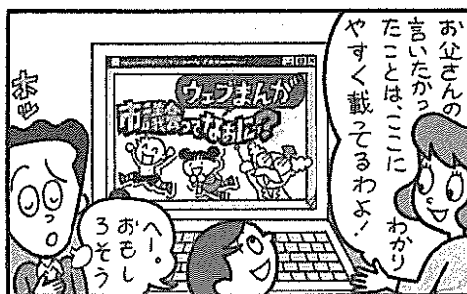
◆点字による請願・陳情も受け付けています。

詳しい問い合わせ及び受け付けは

市議会事務局議事課

(☎582-2628) まで。

市議会ってなあに？ ②



請願・陳情の審議結果

- 請願「北九州市障害者支援センター事業及び北九州市障害児(者)地域療育等支援事業の維持・拡充について」 **〔採択〕**
 - 陳情「JR下曾根駅のバリアフリー化の促進について」のうち第一項(同一の内容で二件) **〔採択〕**
 - 請願「教育条件の充実・改善について」のうち第三項 **〔不採択〕**
 - 陳情「介護保険等社会保障制度の抜本的改善に向けた国の財政措置を求める意見書提出について」のうち第十項 **〔不採択〕**
 - 陳情「学童保育充実のための平成十五年予算措置等について」のうち第一項 **〔不採択〕**
 - 陳情「すべての市立病院構内の全面禁煙について」 **〔不採択〕**
 - 陳情「学童保育施策の改善について」のうち第三項 **〔不採択〕**
 - 陳情「市道三郎丸26号線の復旧工事について」 **〔不採択〕**
 - 陳情「物品納入業者による公金不正受給について(同一の内容で二件)」 **〔不採択〕**
 - 陳情「市有施設等における完全禁煙化について」 **〔不採択〕**
 - 陳情「年金制度の改善を求める意見書提出について」のうち第二項及び第三項 **〔不採択〕**
- このほか、請願41件、陳情86件が継続審査になりました。

お知らせ

- ▼市議会では、視覚障害(一級か二級)のある方に、市議会だよりの点字版、または録音テープを無料でお届けしています。
- ▼ご希望の方は、ご連絡ください。
- ▼市議会だよりに関するお問い合わせやご意見、ご感想をお寄せください。
- ▼次の定例会は六月開催予定です。